

ある、要するに会社は解決すること云ふ誠意がないから、
協調会より調停運動が果して成るかどうかが疑問である。

会社の勤さ

会社は、松田氏との会見には既に報じを如き傍若無人の振
舞い出て、また調停運動の好しこも冷淡に、あくまで組合
破壊の非理を貫徹せんとし、暴虐な態度を保持してゐる。

(完)

参議院決報告書

昭和四年四月廿一日

日本労働
組合
総同盟
關東釀造労働組合